

自己点検・自己評価報告書

本校は教職員による自己点検・評価を実施し、その結果についてこの報告書にまとめた。

2022年5月31日に学校関係者評価委員会を開催し、当自己点検・自己評価報告書について承認を受けた。

注：昨年度評価より点数の変更があった場合は赤字で表示している



学校法人翔陽学園
成田航空ビジネス専門学校

2023年5月29日作成

成田航空ビジネス専門学校

2023年5月29日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準1 教育理念・目的・ 育成人材像	理念・目的・育成人材像は定められている。	4.8	理念・目的と育成すべき人材像を学校理念として再整理し、分かりやすくかつ具体的に示し、教職員・学生に周知し、定着を推進した。
	学校の特色はなに。	4.8	航空・ホテル・観光業界を担うことが出来る、自立し実践的な人材を育成する。 1人1人の個性を見極めて、考える力とコミュニケーション能力を育てるよう指導した。
	学校の将来構想を抱いている。	4.8	航空・ホテル・観光業界で活躍出来る実践的な人材を育てる事により、社会的に信頼される専門学校を目指すとともに、社会の進歩発展に貢献することを明示した。
	全体	4.8	
基準2 学校運営	事務管理費の効率的な支出を行う。	4.8	コストパフォーマンスに鑑み、引き続き、より効率的な予算執行を心がけた。 老朽化対応を中心に（修繕費等）適切に執行した。
	各種規程類の見直しおよび整備を行う。	4.8	関連法規の改正を踏まえて就業規則を中心に見直し、必要な改訂を行った。
	自己点検・自己評価の確実な実施と 第三者評価に対応した評価システムへのステップアップに対する準備	4.5	自己点検・自己評価は2013年度より継続して実施しており、ほぼ定着している。 2020年度より学校関係者評価委員会での審議を経て公開することとしたが、今後は分野別の第三者評価の体制および詳細内容を見ながら更に透明性の向上に努めたい。
	全体	4.7	
基準3 教育活動	事務処理の迅速化・効率化。業務スケジュールをスタッフ間で共有し、お互いにサポートできる体制とする。	4.5	コロナ禍により、例年になく対応を迫られることが続いたが、都度、迅速に情報共有を行いスムーズな運営を図った。
	英語力アップ。	4.4	引き続き英語を重点教科として力を注いでおり、概ね順調に推移した。しかしながら、積極的に取り組んで成果を上げる学生と、英語学習に熱意を持たず成果を上げるに至らなかった学生とに二分する傾向が続いている。
	就職に役立つ各種検定・資格取得を積極的に受けるよう指導する。	4.6	コロナ禍の落ち着きに伴い、概ね順調に推移しているが、2022年度は未だ実施されていない検定（日赤救急法）もあった。

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2023年5月29日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
	授業内容を強化する。	4.6	<p>コロナ禍の状況に応じて適宜オンライン授業を前提とする分散登校を実施するとともに、濃厚接触者となる学生に対しては個別にオンライン受講とすることで、大きな支障なく学習活動を継続することができた。オンライン授業についても学生・教師共に習熟することで、教育品質も確保することができた。</p> <p>学生および担当講師による授業アンケートを例年通り実施し、担当講師による自己評価も合わせて実施することで授業品質の向上を図った。</p>
	カリキュラムの内容を、コースの目標を達成する為により実践的な内容にupdate する。	4.6	<p>グランドハンドリング研究講座については、座学と実技を充実させるとともに、GSEを使った実践的実習について基本手順を重視しつつ見極めと評価を導入することでレベルアップを図った。</p> <p>就活研究セミナーについて、就職試験対応を含む就職活動に役立つ実践的な知識・技能を身につけさせるよう更に改善を図ったが、採用時期が前倒し、集中化する傾向もあり、更に対応していく必要がある。</p>
	全 体	4.5	
基準4 教育成果	資格取得率の向上が図られている。	4.4	航空・観光分野、とりわけ接客分野での採用が旺盛であり、各種検定・資格取得試験を受験するインセンティブにも影響して概ね順調に推移した。
	退学率の低減が図られている。	4.8	退学者は2名(1.7%)と前年(5名、3.3%)から大幅に改善した。
	全 体	4.6	
基準5 学生支援	「2022年度 年間計画表」に基づいて実施。	4.8	教育支援ICTを”Info Clipper’に更新したが、概ね円滑に導入することができた。新機能を活用して学生・教員向けの情報提供を強化している。
	より密度の高い学生支援の実施	4.8	3クラス編成を維持し、担任一人あたりの学生数を20名前後に抑えることで、よりきめの細かい学生指導・学生支援を実現した。
	就職率達成目標(100%)を目指す。	4.8	コロナ禍の落ち着きに伴い、採用控えの反動も含めて航空・観光業界の採用が旺盛であり、従来以上に前倒しで内定が出される状況であり、結果として就職率は100%となった。
	就職指導の効果的・効率的実施	4.2	航空会社系企業の採用活動が前倒しされると共に同時期に集中したことで、ES添削や面接指導など就職指導への負荷が高かった。今後も当面はこの状況が続く見通しであり、大幅に見直していく必要がある。

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2023年5月29日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準5 学生支援	クライアントの定期訪問と新規開拓の実施。	4.4	企業訪問は可能な時期に纏めて実施し、年間を通してメールや電話で頻繁に連絡を取り情報共有を行った。
	CA合格者	4.0	2022年度卒は1名がCAに採用された。
	全体	4.5	
基準6 教育環境	学校を取巻く環境の変化に伴う、学校施設（教室備品等）および、規則（利用、運用規則等）等の検討整備を行う。	4.7	収支状況が厳しいこともあり、老朽化した設備・備品を適切に修繕して利用した。 "infoClipper"への移行は特に大きな混乱なく、スムーズに完了した。出欠データ処理、各種証明書発行、校内連絡（学生向け、職員向け）等の周辺業務については新システムをベースにした業務の流れが概ね固まった。次年度は成績データのまとめと保護者向け連絡事項伝達を中心に新システムの活用を進めていく。
	全体	4.7	
基準7 学生募集 と 受け入れ	専門学校の定員を確保する。	3.5	2022年度定員は100名×2学年の計200名であるが、新入生は64名に留まり、1年生は復学者1名を加えて65名となった。2年生は留学生からの復学者7名を加えて53名となり、合計で118名となった。高校ごとの訪問担当者の固定化と指定校推薦制度の導入により、意欲・学力の高い学生を集めていくように努める。
	オープンキャンパスは平日は随時受付、平日夜間・土曜にも開催し、生徒・ご父兄の利便を優先して柔軟に対応する。	3.5	高校生の来校促進に力を入れた結果、前年度よりも来校数は増加したが、オンライン参加者は減少した。
	高校内での学校説明会・留学生対象の説明会への参加	4.0	高校ごとに訪問担当者を固定し、定期的に訪問することで、高校の先生との信頼関係をより強固にできた。
	紙媒体を減らし、ホームページ、SNSを活用する。	4.8	Instagramを中心としたSNSを有効活用し、高校生向けに身近な話題を多く提供、学校の魅力をアピールできた。 また、新たに「LINE」の公式アカウントを作成し、高校生に積極的に「お友達登録」してもらうことで、気軽に問い合わせできるようになった。
	学校訪問のプライオリティー付け。	4.5	重点校に対して2024年度入学生を対象に指定校推薦制度を導入することとした。
全体	4.1		
基準8 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえる。	3.0	2022年度は在籍数の大幅な減少により大きな赤字を出すに至った。2023年度も学生総数は同数となっており、赤字予算を組まざるをえないが、その赤字額を大幅に縮小すべく工夫を重ねる。
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	4.0	厳しい収支状況ではあるが、学校運営の品質には影響がないように配慮して年度予算を作成している。
	全体	3.5	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2023年5月29日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準9 法令等の 遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	4.8	法令、設置基準に抵触する事例はなく、適正に運営した。
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。	4.7	個人情報を取り扱う部署に対する教育・指導を実施し、情報漏えいは発生しなかった。
	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めている。	4.8	各年度始めに事業計画を策定し、年度を通じて着実に施策を実施していくことにより課題の克服と改善に繋げている。2013年度より教職員による自己点検・自己評価を継続して実施し、2020年度よりは学校関係者評価委員会で審議頂くことで透明性と客観性の確保に努めている。
	自己点検・自己評価結果を公開している。	4.8	自己点検・自己評価の結果をホームページで公表している。
全体		4.8	
基準10 社会貢献	地域の行事に積極的に参加し、活性化に寄与すると共に学生に社会との関わりを認識させる。	4.6	徐々に地元のお祭りなどの行事が復活しており、成田祇園祭りの山車曳き、公津フェスタなどに参加した。
	英会話教室等を開設し、国際人を育てる事に貢献すると共に、企業等に対してもマナー教育、語学研修等を行い社会貢献している。	3.5	周辺地域の方々に認知されてきたことから会員数はこれまで増加傾向にあったが、コロナ禍影響から新規会員獲得が進まず、幼児・小学生会員の減少に歯止めがかからないため、更なる対策が必要である。 会員のご要望に柔軟に対応することでプライベートレッスン受講者数を増やしている。また、同様に柔軟に補講対応するとともに、他教室からの転入促進を図ることで入会者増加に努めている。
	フォークリフト技能講習のための成田フォークリフト教習センターについて安定運用を図る。	4.6	フォローアップ営業等によりリピーター獲得に努めるとともに、新規講座の開設準備を進めた。 2021年度より新規開講したが、各方面への営業活動により順調に定着している。受講者からも概ね好評を得ている。ただし、2022年度を受講者目標を2021年度の倍増の300名としたが、227名に留まった。
全体		4.2	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

自己評価における特記事項

自己評価は学校経営目標・運営実施目標に基づく業務実施計画書に年度達成目標が、どの程度達成されているかを分野別に抜粋したものです。

※資料1 専門学校学生数の推移

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
入学生	58	60	80	84	78	51	65
進級者	65	60	52	76	74	67	53
在籍数	123	120	132	160	152	118	118

復学者1名を含む

※資料2 2022年度卒業生就職先

CA	スカイマーク	1		
			小計	1
GS	JALスカイ	11	スイスポートジャパン	1
	スカイマーク	5	空港ターミナルサービス	3
	エコパートナーズ	4	JALスカイ札幌	1
	Kスカイ	3	羽田エアポートエンタプライズ<免税店>	1
	ドリームスカイ名古屋	1	ジェイ・エス・エス<空港保安>	1
	FMG	1	小計	32
AC	JALカーゴサービス	5	阪急阪神ロジパートナーズ	4
	ANA Cargo	3	エムオーエアロジスティックス	1
	NCA Japan	1		
			小計	14
GH	日本空港サービス	1	スイスポートジャパン	1
	JALグランドサービス	5		
	ANAエアポートサービス	3		
			小計	10
HT	日本ホテル	2	リゾートトラスト	1
	森ビルホスピタリティコーポレーション	2	金谷ホテル観光	1
	共立メンテナンス	1	JR東日本サービスクリエーション	1
	帝国ホテル	1		
			小計	9
その他	国際医療福祉大学成田病院(事務職)	1		
			小計	1
合計				67

※資料4

収益事業(成田FL教習センター)受講者数

コース	2021		2022	
	回数	人数	回数	人数
11H	5	15	1	1
31H	26	136	36	175
35H	6	12	15	25
44H	1	6	5	26
合計	38	169	57	227

※資料3

資格		2021年度生		2022年度生		
英語	TOEIC	700以上	7	9%	1	1%
		600-695	1	1%	3	4%
		500-595	10	14%	7	10%
		400-495	11	15%	3	4%
		395以下	5	7%	5	7%
	英検	1級	0	0%	0	0%
		準1級	1	1%	1	1%
2級		39	53%	21	31%	
	準2級	21	28%	10	15%	
	3級	8	11%	6	9%	
中国語	HSK	2級	0	0%	2	3%
		3級	1	1%	0	0%
韓国語	TOPIX	3級	4	5%	0	0%
		2級	1	1%	0	0%
日本語(留学生対象)		1級	1	1%	1	1%
PC	PC II種	1級	4	5%	0	0%
		2級	6	8%	0	0%
		3級	4	5%	0	0%
	Amadeus	中級	0	0%	0	0%
		初級	10	14%	0	0%
サービス	サービス接遇検定	準1級	0	0%	0	0%
		2級	7	9%	7	10%
		3級	0	0%	0	0%
	ホテル実務 Basic 2級		2	3%	0	0%
	日赤救急法		0	0%	0	0%
	サービス介助士		18	24%	12	18%
	IATA DIPLOMA		0	0%	0	0%

※資料5 収益事業(English House)会員数(年度末実働数)

	2019	2020	2021	2022
合計	499	467	451	398
幼児	67	53	54	48
小学生	218	208	209	184
中学生	141	138	115	88
成人	73	68	73	78